

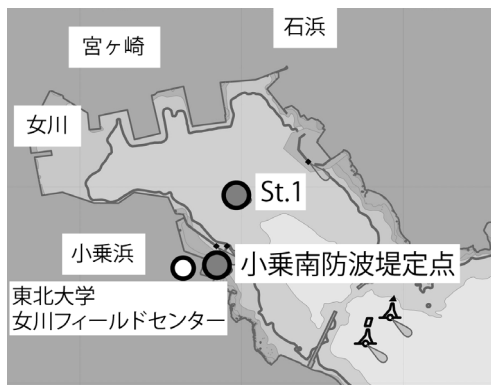
週刊 女川湾海況速報 (No.22)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

12 月 10 日から 14 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して、水温は下降。経時的にも下降。鉛直的にはほぼ一定。海面冷却の影響と推定。塩分は先週とほぼ同じ値。経時的には 10 日に表層 (0m) 近くで低い値。降雨の影響と推定。

水深 [m]	12月10日 (月)	12月11日 (火)	12月13日 (木)	12月14日 (金)
0	12.6 (32.9)	12.2 (33.1)	12.0 (33.3)	12.0 (33.4)
6	12.7 (33.4)	12.3 (33.3)	12.1 (33.4)	12.0 (33.4)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はパーミル (千分率)。1 パーミル = 1PSU (実用塩分単位)。
*14 日は水深 5m のデータを使用。

②濁度：先週と比較して、下降傾向。経時的には 13 日に全層で上昇。その後、0.7 ~ 1.0FTU を維持。

水深 [m]	12月10日 (月)	12月11日 (火)	12月13日 (木)	12月14日 (金)
0	0.9	0.6	0.9	0.7
6	0.9	0.9	1.0	1.0

(単位は FTU)

③溶存酸素：先週と同じ 7~8mg/l 台を維持。経時的にも鉛直的にもほぼ一定。

水深 [m]	12月10日 (月)	12月11日 (火)	12月13日 (木)	12月14日 (金)
0	8.2	8.1	8.1	8.0
6	8.0	7.9	8.0	7.9

単位は mg/l。水産用水基準 (水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値) : 4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はともに鉛直的にはほぼ一定。濁度は 0.9~1.8FTU。鉛直的には 10m で最大、それ以外ではほぼ一定。溶存酸素は 7.9~8.1mg/l。鉛直的にはほぼ一定。

12 月 12 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	12.2	33.3	0.9	8.1
5	12.3	33.4	1.0	7.9
10	12.3	33.4	1.8	8.0
15	12.3	33.4	1.0	7.9
20	12.3	33.4	1.0	7.9

本データの利用については、
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。